

令和 5 年 10 月 30 日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 上野 茂 ㊞

調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間

令和 5 年 10 月 25 日(水)～26 日(木)

2. 調査研修内容

第 18 回全国市議会議長会研究フォーラム

統一地方選挙の検証と地方議会の課題

・10/25 基調講演 片山 善博 氏 (大正大学教授兼地域構想研究所長)

パネルディスカッション

谷 隆徳 氏 (日本経済新聞編集委員)

勢一 智子 氏 (西南学院大学法学部教授)

辻 陽 氏 (近畿大学法学部教授)

濱田 真里 氏 (Stand by Women 代表)

女性議員のハラスメント相談センター共同代表)

田仲 常郎 氏 (北九州市議会議員)

・10/26 課題討議

江藤 俊昭 氏 (大正大学社会共生学部公共政策学科教授)

辻 弘之 氏 (登別市議会議長)

たぞえ 麻友 氏 (一般社団法人 WOMAN SHIFT

目黒区議会議員)

永野 慶一郎 氏 (枕崎市議会議長)

3. 研 修 先

北九州市 西日本総合展示場 新館

(福岡県北九州市小倉北区浅野三丁目 8-1)



4.行程

交通手段:車(レンタカー)

10/25(水)	7:30	浜田市役所出発
		途中昼食
	11:30	会場到着(北九州市 西日本総合展示場 新館)
	13:00	第18回全国市議会議長会研究フォーラム 開会 1日目
	16:50	1日目終了
	17:20	ホテル(ホテルルートイン北九州若松駅東)到着
	18:00	夜食事
	8:00	ホテル出発
10/26(木)	9:00	第18回全国市議会議長会研究フォーラム 2日目 開始
	11:00	2日目終了
	11:15	会場出発 浜田へ
		途中昼食
	16:30	浜田市役所着 解散

5. 調査経費

24,113 円

(経費内訳)

参加費	9,000 円
宿泊代	8,000 円
レンタカー代	5,500 円
有料道路代	545 円
ガソリン代	805 円
駐車場代	125 円
手数料	138 円

6. 調査研究活動の概要

別紙のとおり

【調査研究活動の概要】

1. 大正大学 片山善博氏の講演「躍動的でワクワクする市議会に」

- ・地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する。
- ・日本の地方議会にかけていることは何か
- ・現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むこと
- ・議会の常識と市民の常識をすり合わせる一市民が首をかしげることは
- ・今振り返って議会に感謝していること

(所感)

公開の場における議論が欠けている。住民の声が聞こえないなど、厳しい指摘もあったが講師の鳥取県知事時代の県庁の女性職員や男性の育児休業取得率が全国一番や、米国市議会の事例など、わかりやすく話され参考になった。

2. パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題

(谷隆徳 日経新聞) (勢一智子 西南学院大学) (辻陽 近畿大学法学部)
(濱田真里 Stand by Women 代表) (田仲常郎 北九州市議会議長)

- ・人口減少社会の本格的到来が地域にもたらすもの
- ・住民の構成と比較して女性や60歳未満の割合が、極めて低いまた投票率の低下や無投票の増加等により住民の議会に対する関心の低下

(所感)

議員のなり手不足問題における小規模自治体の課題や議会活動に専念できる「专业化」の環境を整えることが大切と感じた。

3. 課題討議「議員のなり手不足問題への取組報告」

コーディネーター(江藤俊昭 大正大学社会共生学部)

・事例報告者(辻弘之 登別市議会) (たぞえ麻友 目黒区議会) (永野慶一郎 枕崎市議会)

- ・地方政治が重要になっているにもかかわらず、政治の衰退が進んでいる。なりて不足は選挙のある内の問題ではなく、住民自治にとって大きな問題を生み出す。その解消は喫緊の課題で討議ではなりて不足の要因と打開についても話し合われた。

(所感)

住民と歩む議会、議会報告会や井戸端会議、議会だよりなど活用し、住民の声をしっかり聴き、住民福祉の向上にもっと力を入れなければと感じた。

